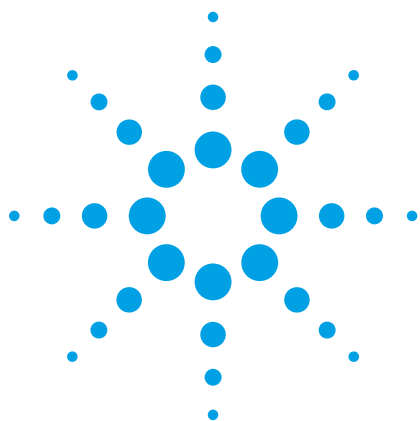




Agilent 装置コントロール フレームワーク (ICF)

アジレント HPLC 機器のエンドユーザーとサードパーティ製
装置コントロールプロバイダのための情報

概要

オープンシステムに力を注ぐアジレントが、装置コントロールフレームワーク (ICF) の提供を開始しました。ICF は一種のソフトウェアコンポーネントであり、これを使用すると、サードパーティソフトウェアプロバイダは、クロマトグラフィータシステムやワークステーションでアジレントの液体クロマトグラフィ (LC) システムを迅速かつ容易に有効化し、制御できるようになります。アジレントの新しい標準機器ドライバを基盤とした ICF によって、ソフトウェア開発者が独自のネイティブドライバを作成する際に低レベルの機器制御コードを使用するために生じる遅延や処理の多くが排除されます。アジレントはソフトウェア開発者に ICF を無償で提供しています。サードパーティソフトウェア開発

者は、最小限の R&D 作業でアジレントの LC 機器を完全に制御できるようになりました。LC モジュール用のドライバを個別に開発し、サポートするのではなく、1つのアダプタを開発するだけで制御が可能となります。このアダプタが、アジレントが提供する標準機器ドライバを使用して、すべてのアジレント LC モジュールをアジレント以外のソフトウェアにリンクします。サードパーティソフトウェア環境での新しいアジレント HPLC システムの装置コントロールは、システムの発売時に直ちに使用可能になります。通常は、すべてのサードパーティが新しい機器ドライバを個別に開発する必要があるため、使用できるのは 9~12 か月後になっていました。



Agilent 1290 Infinity LC システムの装置コントロールのユーザーインターフェース、装置ステータス画面の例



Agilent Technologies

アジレント LC をお使いの お客様にとっての利点

- 装置コントロールのステータス画面が、すべてのサードパーティ製 LC または LC/MS データシステムおよびワークステーションで同一になりました。
- 最新の 1100/1200/1290 シリーズ LC モジュールをサポートしています。
- 新たなモジュールまたはシステムは、アジレントから発売された時点でサポートされます。
- メソッド編集、機器ステータス、機器構成などのすべての機器機能をシームレスに統合するユーザーインターフェースを提供します。
- モジュール固有のビューだけではなく、複合的なシステムビューもすべてのソフトウェアプラットフォームで提供します。

サードパーティ製システムとの インテグレート時の利点

アジレントの ICF には Agilent 1200 シリーズ LC RC.NET 機器ドライバが含まれ、サードパーティソフトウェア接続のためのシンプルなプログラミングインターフェースを提供します。サードパーティは独自のソフトウェアから ICF へのアダプタを開発するだけで、現在および将来の、そして旧型アジレント LC モジュールの一部を完全に制御することができます。追加の機器制御コードを作成する必要はありません。Agilent ICF には次のメリットがあります。

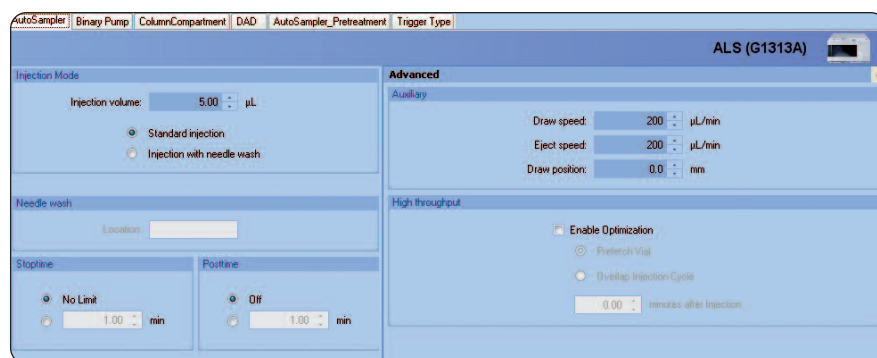
- Agilent 1100、1200、および 1290 Infinity LC シリーズ LC モジュールをサポートし、高い柔軟性を提供します。
- 高レベルのインターフェースは、現在の低レベルの LICOP コンポーネントのサポートよりも簡単に使用できます。

- モジュール固有のビューよりも大幅に良好なシステムステータスを提供する、複合的なシステムビューを表示できます。
- 包括的なユーザーインターフェースには、メソッド編集、機器ステータス、機器構成などの高い価値を持つ機能が既に含まれています。
- シンプルな更新ルーチンにより、新しいモジュールと拡張機能の迅速かつ容易なサポートが可能になります。
- ICF へのインターフェースは一度実装するだけで、サードパーティ製ソフトウェアがさまざまなアジレント機器ドライバを直接プラグインできます。
- 基礎となるハードウェア/ファームウェアの詳細な知識を必要としない、テストを大幅に軽減する、機器アクセスのためのより便利なプログラミングの枠組みを提供します。
- アプリケーションでの実装の変更が必須ではない、新しい LC モジュールの迅速でシームレスなサポートが可能です。

Agilent ICF は、基礎となるハードウェアおよびファームウェアの詳細な知識を必要としない、便利な装置コントロールを提供します。また、Agilent ICF は統合されたオンラインヘルプを提供し、さまざまな言語へのローカライズを容易にし、メソッドのオーディットトレイルにも対応します。オンラインヘルプや、グローバル化を可能にするローカライズ (日本語、中国語、ポルトガル語)、またはコンプライアンスをサポートするためのメソッドのオーディットトレイルなど、革新的なその他の機能も用意しています。

エンドユーザーの皆様へ：お客様のラボに ICF が導入される時期については、サードパーティ製ワークステーションまたはクロマトグラフィーデータシステムのサプライヤにお問い合わせください。

システムインテグレータの皆様へ：ICF の使用条件の詳細については、アジレントまでお問い合わせください。



G1329A オートサンブラの機器メソッド UI の例

www.agilent.com/chem/jp

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc., 2010
Published June 1, 2010
5990-5756JAJP



Agilent Technologies